2026年11月27日

各位

会 社 名　株式会社軽自動車館
（コード番号　7680 TOKYO PRO Market）
代表者名　代表取締役社長　　阿部　章一
問合せ先　執行役員管理部長　佐藤　哲康
Ｔ Ｅ Ｌ　011-200-0312
Ｕ Ｒ Ｌ　https://keijidousyakan.com/

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2025年12月15日にて公表した2026年10月期（2025年11月1日から2026年10月31日まで）の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

１．当期の業績予想数値の修正（2025年11月１日～2026年10月31日）　（単位:百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	4,838	80	65	42	813円95銭
今回修正予想（B）	5,015	138	126	90	1,750円84銭
増 減 額　（B-A）	177	58	61	48	
増 減 率　　（%）	3.7	72.8	94.8	115.1	
（参考）前年実績（2025年10月期）（６か月決算）	2,366	74	69	50	970円07銭

２．修正の理由

当期（2025年11月１日から2026年10月31日まで）の業績については、中古車販売業界におきましては、円安や原材料価格の高止まり等を背景とした、新車価格の上昇により、比較的低価格帯の中古車需要が堅調に推移し、軽自動車の中古車販売台数は2,876,315台（前年同期比100.5%）となりました。

当社におきましては、オートオークション相場が前年を上回る水準で推移するなど、仕入環境は引き続き厳しい状況となりました。当社の主力価格帯・年式帯の車両については、仕入競争の激化により仕入台数が計画を下回る水準となりましたが、整備売上及び保険代理店収入の増加に加え、最重要課題として取り組んでいる仕入コスト上昇分の販売価格への適切な転嫁を進めたことにより、収益性の向上を図りました。また、経費面においても継続的な削減活動を推進し、厳しい仕入環境下においても収益の安定化に努めた結果、営業利益、経常利益及び当期純利益は前回発表予想を上回る見込みとなりました。

以上